

# 超域芸術論特講Ⅰ

選択 2単位

## 1. 授業の概要(ねらい)

18世紀以降ヨーロッパの自信回復とともに確立するヨーロッパ中心の美学を適宜参照しながら、日本人の審美観に焦点をあてる。期中3回、個人発表をしてもらい、そのあとに質疑応答と解説、ディスカッションを予定しています。

## 2. 授業の到達目標

異文化間の芸術受容のあり方を検証し、芸術の超域性および異文化について理解を深める。異文化の理解ならびに表現の特徴を身につける。

## 3. 成績評価の方法および基準

平常点60%、個人発表40%。

## 4. 教科書・参考文献

参考文献

岡倉天心 茶の本

## 5. 準備学修の内容

個人発表の準備。発表時の質疑応答で明らかになった問題点を調べる。

## 6. その他履修上の注意事項

芸術に現れた、文化の違いに注意してほしい。

## 7. 授業内容

【第1回】 ガイダンス。

【第2回】 発表と討論。

【第3回】 発表と討論。

【第4回】 発表と討論。

【第5回】 発表と討論。

【第6回】 発表と討論。

【第7回】 発表と討論。

【第8回】 発表と討論。

【第9回】 発表と討論。

【第10回】 発表と討論。

【第11回】 発表と討論。

【第12回】 発表と討論。

【第13回】 発表と討論。

【第14回】 発表と討論。

【第15回】 まとめ。